

# 『70年代生成文法再認識 —日本語研究の地平—』

開拓社出版 (2011年11月刊行)

長谷川 信子 (編・著)



—神田外語大学 CLS10 周年記念—

70年代は生成文法と日本語記述研究が相互に学び高め合った蜜月時代。当時の成果と研究手法を再認識しつつ、それ以降に培った理論的視点と記述的発展から、今後の日本語統語研究の可能性と方向性を提示し、文法理論研究の醍醐味を伝えます。両分野の相互恩恵関係が、時を越え、理論の新展開を受け、次元を改め、新たにスタートします。

## <目次>

はじめに、序にかえて& 各論文の要旨

- |      |   |                       |
|------|---|-----------------------|
| 第1章  | モデルをめぐって  | 井上 和子 (神田外語大学名誉教授)    |
| 第2章  | 二重主語構文の構造                                       | 久野 暉 (ハーバード大学名誉教授)    |
| 第3章  | 副詞のかき混ぜと焦点解釈                                    | 藤巻 一真 (神田外語大学)        |
| 第4章  | 「所有者分離」と文構造 — 「主語化」からの発展 —                      | 長谷川 信子 (神田外語大学)       |
| 第5章  | シテイルが持つ継続的状态性と結果の意味—井上和子『変形文法と日本語』と事象投射理論—      | 岩本 遠億 (神田外語大学)        |
| 第6章  | 補文標識と Wh 句の共起関係について —理由を表す Wh 付加詞を中心に—          | 栗原 和生 (神田外語大学)        |
| 第7章  | コト節におけるトイウの統語的機能                                | 真鍋 雅子 (神田外語大学)        |
| 第8章  | トピックと焦点 — 「は」と「かき混ぜ要素」の構造と意味機能—                 | 中村 浩一郎 (広島女学院大学)      |
| 第9章  | 受益構文と、機能範疇としての「あげる」                             | 大倉 直子 (神田外語大学)        |
| 第10章 | タイ語の関係節構文                                       | 高橋 清子 (神田外語大学)        |
| 第11章 | 日本語の空主語とモダリティ                                   | 上田 由紀子 (秋田大学)         |
| 第12章 | 受益性のない事象における「ていただく」について — 「~にVしてもらう」構文の機能的分析から— | 上原 由美子 (神田外語大学)       |
| 第13章 | 助動詞「まい」の形態統語的分析                                 | 漆原 朗子 (北九州市立大学)       |
| 第14章 | 「が」と文の情報タイプ                                     | ヨフコバ四位 エレオノラ (神田外語大学) |
| 索引 & | 執筆者紹介   |                       |